

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	信託期間は2004年12月3日から無期限です。	
運用方針	毎決算時の安定した収益分配と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利ソブリンオープン	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	高金利外債マザーファンド	FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などを主要投資対象とします。
組入制限	高金利ソブリンオープン	株式への投資は転換社債を転換したものと及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)を行使したものに限り、株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	高金利外債マザーファンド	株式への投資は転換社債を転換したものと及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)を行使したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎月決算を行い、収益分配を目指します。分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。なお、前期から繰り越された分配準備積立金及び収益調整金は、全額分配に使用することがあります。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

# 高金利ソブリンオープン

## 運用報告書(全体版)

第234期(決算日 2024年6月17日) 第237期(決算日 2024年9月17日)  
第235期(決算日 2024年7月17日) 第238期(決算日 2024年10月17日)  
第236期(決算日 2024年8月19日) 第239期(決算日 2024年11月18日)

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。  
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

## 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル:0120-668001  
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

**【本運用報告書の記載について】**

- ・基準価額および税込分配金は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考指数		債券組入率	債券先物比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率				
		円	円	%		%	%	%	百万円
第36	第210期(2022年 6月17日)	6,237	10	△1.2	504.372	△1.1	97.1	—	9,959
	第211期(2022年 7月19日)	6,514	10	4.6	531.761	5.4	97.0	—	10,343
	第212期(2022年 8月17日)	6,520	10	0.2	524.064	△1.4	97.4	—	10,267
	第213期(2022年 9月20日)	6,501	10	△0.1	529.190	1.0	97.3	—	10,140
	第214期(2022年10月17日)	6,262	10	△3.5	521.436	△1.5	97.9	—	9,691
	第215期(2022年11月17日)	6,411	10	2.5	519.130	△0.4	97.6	—	9,861
第37	第216期(2022年12月19日)	6,302	10	△1.5	515.903	△0.6	97.1	—	9,643
	第217期(2023年 1月17日)	6,006	10	△4.5	491.874	△4.7	96.1	—	9,156
	第218期(2023年 2月17日)	6,094	10	1.6	500.835	1.8	97.5	—	9,201
	第219期(2023年 3月17日)	6,095	10	0.2	503.330	0.5	97.7	—	9,170
	第220期(2023年 4月17日)	6,171	10	1.4	512.246	1.8	96.0	—	9,238
	第221期(2023年 5月17日)	6,210	10	0.8	522.215	1.9	96.4	—	9,247
第38	第222期(2023年 6月19日)	6,392	10	3.1	538.688	3.2	96.2	—	9,412
	第223期(2023年 7月18日)	6,322	10	△0.9	535.340	△0.6	96.7	—	9,225
	第224期(2023年 8月17日)	6,352	10	0.6	545.037	1.8	97.0	—	9,218
	第225期(2023年 9月19日)	6,388	10	0.7	546.522	0.3	97.5	—	9,198
	第226期(2023年10月17日)	6,334	10	△0.7	544.427	△0.4	97.3	—	8,897
	第227期(2023年11月17日)	6,538	10	3.4	565.529	3.9	98.0	—	9,130
第39	第228期(2023年12月18日)	6,531	10	0.0	555.317	△1.8	97.9	—	9,029
	第229期(2024年 1月17日)	6,651	10	2.0	570.466	2.7	97.6	—	9,130
	第230期(2024年 2月19日)	6,671	10	0.5	576.721	1.1	97.4	—	9,086
	第231期(2024年 3月18日)	6,679	10	0.3	577.152	0.1	97.9	—	9,027
	第232期(2024年 4月17日)	6,697	10	0.4	586.035	1.5	97.2	—	8,969
	第233期(2024年 5月17日)	6,956	10	4.0	603.247	2.9	95.9	—	9,254
第40	第234期(2024年 6月17日)	7,075	10	1.9	610.654	1.2	94.0	—	9,353
	第235期(2024年 7月17日)	7,173	10	1.5	624.152	2.2	96.1	—	9,425
	第236期(2024年 8月19日)	6,810	10	△4.9	593.858	△4.9	97.0	—	8,895
	第237期(2024年 9月17日)	6,623	10	△2.6	576.880	△2.9	97.0	—	8,596
	第238期(2024年10月17日)	6,811	10	3.0	602.241	4.4	97.3	—	8,806
	第239期(2024年11月18日)	6,739	10	△0.9	607.137	0.8	97.7	—	8,660

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

## 当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比
			騰落率		騰落率		
第234期	(期首)2024年 5月17日	円	%	603.247	%	%	%
	(期末)2024年 6月17日	6,956	—	610.654	—	95.9	—
第235期	(期首)2024年 6月17日	7,085	1.9	610.654	1.2	94.0	—
	(期末)2024年 7月17日	7,075	—	624.152	—	96.1	—
第236期	(期首)2024年 7月17日	7,183	1.5	624.152	—	96.1	—
	(期末)2024年 8月19日	7,173	—	593.858	△4.9	97.0	—
第237期	(期首)2024年 8月19日	6,820	△4.9	593.858	—	97.0	—
	(期末)2024年 9月17日	6,810	—	576.880	△2.9	97.0	—
第238期	(期首)2024年 9月17日	6,633	△2.6	576.880	—	97.0	—
	(期末)2024年10月17日	6,623	—	602.241	4.4	97.3	—
第239期	(期首)2024年10月17日	6,821	3.0	602.241	—	97.3	—
	(期末)2024年11月18日	6,811	—	607.137	0.8	97.7	—
		6,749	△0.9				—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

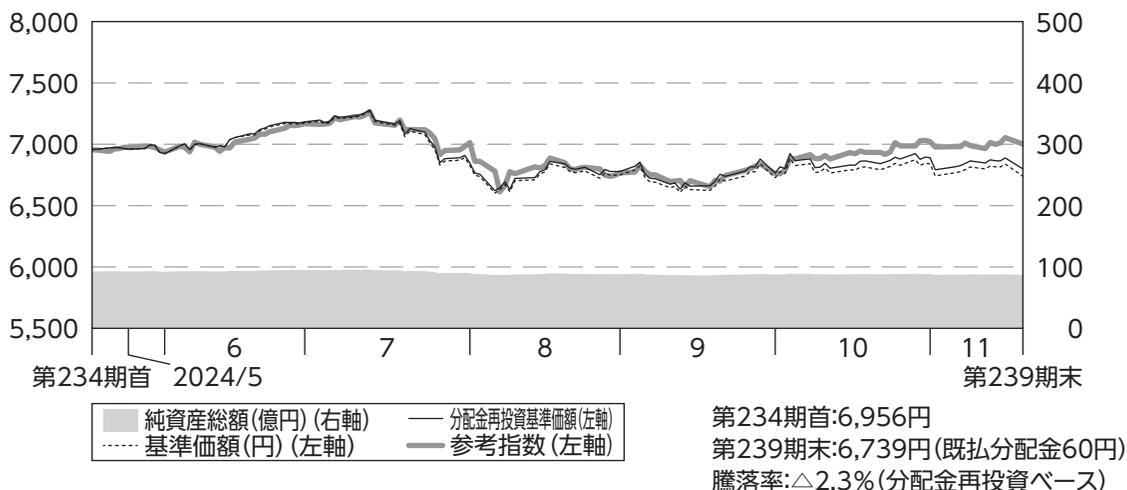
参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。

【FTSE世界国債インデックス】は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## 当作成期中の運用経過と今後の運用方針

### 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

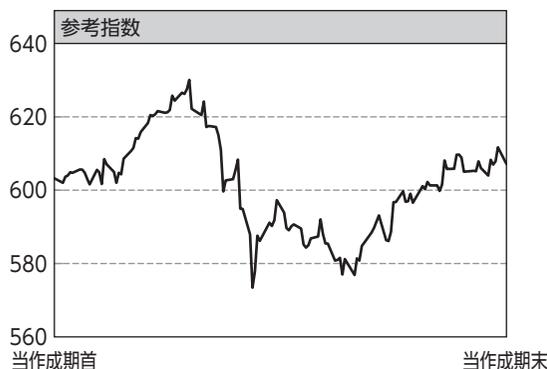
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及び参考指数は、2024年5月17日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。当作成期初から7月上旬にかけては、米国における景気の底堅さが意識されたことなどが相対的な円安圧力となり、投資国通貨が上昇したことから、基準価額は上昇基調で推移しました。しかし、7月中旬から8月上旬にかけては、日本当局による円買い介入観測や、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことが相対的な円高圧力となり、投資国通貨は対円で下落し、基準価額は下落しました。ただし、その後公表された米国の小売統計などが景気好調を示したことから市場のリスク心理が改善し、投資国通貨が対円で上昇に転じたことを受け、基準価額の下落は一服しました。9月下旬から当作成期末にかけては、中国当局による財政政策から同国の景気回復期待が高まりリスク心理が改善したことや、米大統領選挙において財政拡張的な政策を掲げるトランプ候補優勢との見方が強まると、先行きのインフレ再燃や財政悪化が警戒されました。これらは相対的な円安圧力となり投資国通貨は対円で上昇した一方、投資国の金利は上昇(債券価格は下落)したことから、基準価額は概ね横ばいで推移しました。

## 投資環境



為替市場では、投資国の通貨が対円で下落しました。当作成期初から7月上旬にかけては、米国においてインフレが根強く景気の底堅さが意識されたことなどが相対的な円安圧力となり、投資国通貨は対円で上昇しました。7月中旬から8月上旬にかけては、日本当局による円買い介入観測や、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことが相対的な円高圧力となり、投資国通貨は対円で下落しました。その後当作成期末にかけては、日本の総選挙で連立与党の過半数割れ観測が高まり、国内政局の先行き不透明感が円売り材料となったことなどから、投資国通貨は対円で下落幅を縮小しました。

債券市場は、投資国の金利はまちまちな動きとなりました。当作成期初から9月中旬にかけては、各国中央銀行が利下げを開始し、投資国の金利も低下（債券価格は上昇）しました。ただし、9月下旬から当作成期末にかけては、中国当局による財政政策から同国の景気回復期待が高まったことや、米大統領選挙において財政拡張的な政策を掲げるトランプ候補優勢との見方が強まると、先行きのインフレ再燃や財政悪化が警戒され、投資国の金利も上昇（債券価格は下落）しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドの運用につきましては、主要投資対象である「高金利外債マザーファンド」をほぼ100%組み入れ、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

### 【「高金利外債マザーファンド」の運用経過】

通貨配分につきましては、当作成期初から9月にかけては、米ドルと豪ドルの組入比率を高めに運用し、10月以降は、英ポンドと豪ドルの組入比率を高めに運用しました。また当作成期を通じて、ノルウェー・クローネやカナダ・ドルへの投資を継続しました。

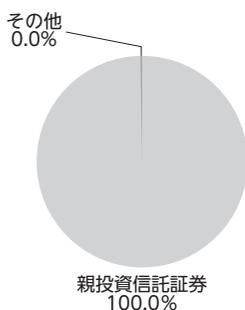
## 当ファンドの組入資産の内容

### ○組入ファンド

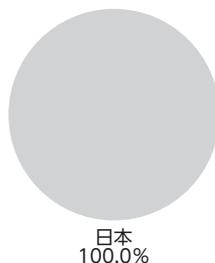
	当作成期末
	2024年11月18日
高金利外債マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

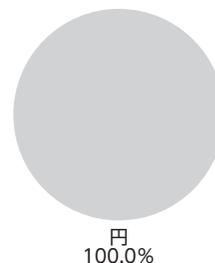
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分

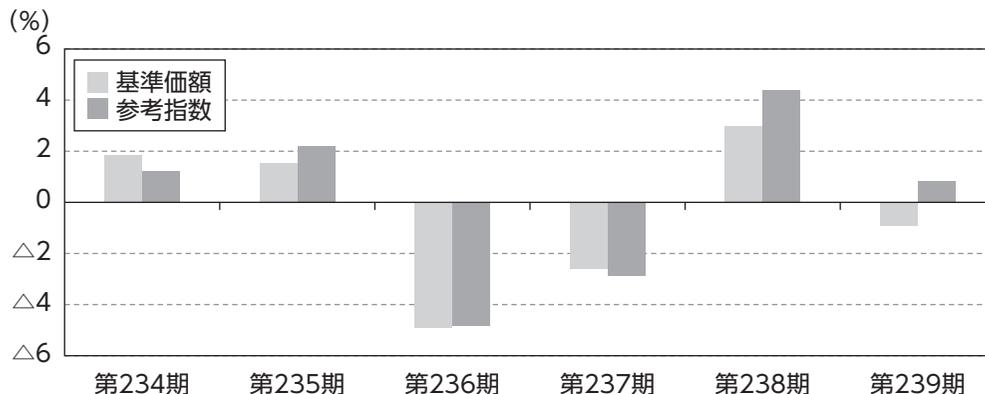


(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)と参考指数の騰落率の対比です。



## 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	2024年5月18日～ 2024年6月17日	2024年6月18日～ 2024年7月17日	2024年7月18日～ 2024年8月19日	2024年8月20日～ 2024年9月17日	2024年9月18日～ 2024年10月17日	2024年10月18日～ 2024年11月18日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	(0.141)	(0.139)	(0.147)	(0.151)	(0.147)	(0.148)
当期の収益 (円)	10	10	10	9	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	0	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	228	235	237	237	242	244

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

高金利外債マザーファンド受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などのうち、国際的な格付機関である米国S&P社または同Moody's社から、原則としてA格相当以上が付与された債券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指します。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2024年5月18日～2024年11月18日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	42円	0.613%	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{[期中の平均基準価額]} \times \text{信託報酬率}}{\text{期中の平均基準価額}}$ は6,872円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(17)	(0.251)	
(販売会社)	(23)	(0.335)	
(受託会社)	(2)	(0.028)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]} \times 10,000}{\text{[期中の平均受益権口数]}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]} \times 10,000}{\text{[期中の平均受益権口数]}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]} \times 10,000}{\text{[期中の平均受益権口数]}$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(0)	(0.007)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	43	0.623	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

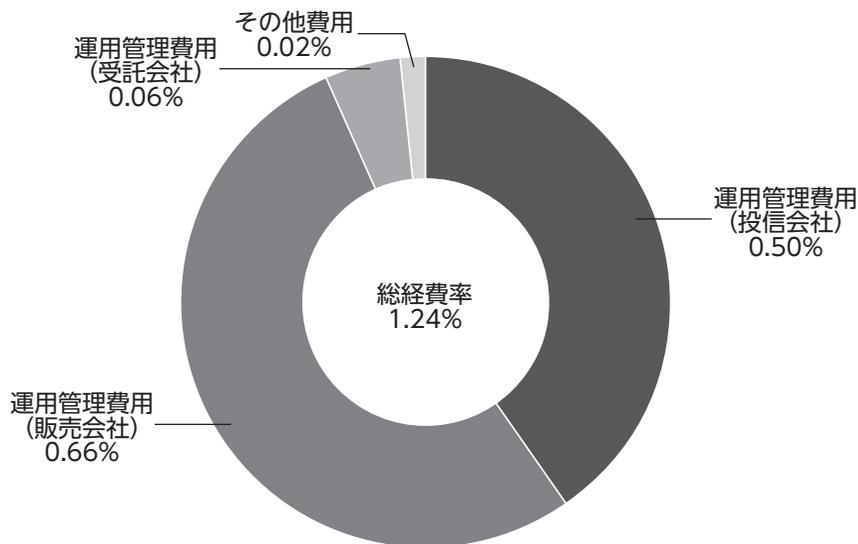
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## <参考情報>

### 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.24%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買および取引の状況

### <親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利外債マザーファンド	千口 621	千円 1,391	千口 203,565	千円 444,756

## 利害関係人※との取引状況等

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金 銭 信 託	0.012241	0.012241	100.0	0.012241	0.012241	100.0
コール・ローン	1,056	227	21.5	1,056	228	21.6

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

### <高金利外債マザーファンド>

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	2,165	2,165	100.0	2,814	2,814	100.0
金 銭 信 託	0.295345	0.295345	100.0	0.295345	0.295345	100.0
コール・ローン	31,353	6,682	21.3	31,508	6,723	21.3

<平均保有割合 55.8%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

### <親投資信託残高>

種 類	前 作 成 期 末		当 作 成 期 末		
	口 数		口 数		評 価 額
	千口		千口		千円
高金利外債マザーファンド	4,211,905		4,008,960		8,658,954

(注)親投資信託の当作成期末現在の受益権総口数は、7,202,534千口です。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
高金利外債マザーファンド	8,658,954	99.7
コール・ローン等、その他	25,706	0.3
投資信託財産総額	8,684,660	100.0

(注1)高金利外債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(15,408,517千円)の投資信託財産総額(15,569,662千円)に対する比率は99.0%です。

(注2)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=154.35円

1カナダドル=109.65円

1イギリスポンド=195.02円

1ノルウェークローネ=13.95円

1オーストラリアドル=99.96円

## 資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第234期末 2024年6月17日現在	第235期末 2024年7月17日現在	第236期末 2024年8月19日現在	第237期末 2024年9月17日現在	第238期末 2024年10月17日現在	第239期末 2024年11月18日現在
(A) 資 産	9,393,710,255円	9,458,497,074円	8,925,553,570円	8,632,421,142円	8,832,449,871円	8,684,660,117円
コール・ローン等	12,992,448	12,659,163	13,073,849	11,317,872	12,551,714	12,567,760
高金利外債マザーファンド(評価額)	9,367,162,719	9,423,557,741	8,892,155,404	8,603,400,788	8,806,659,682	8,658,954,393
未 収 入 金	13,555,064	22,280,147	20,324,239	17,702,416	13,238,401	13,137,891
未 収 利 息	24	23	78	66	74	73
(B) 負 債	40,568,709	32,962,094	30,518,455	35,964,830	26,108,982	24,418,066
未払収益分配金	13,219,990	13,139,722	13,061,542	12,980,454	12,928,808	12,850,977
未払解約金	17,784,089	10,372,474	7,613,019	14,526,594	4,418,740	2,210,703
未払信託報酬	9,521,361	9,407,149	9,799,362	8,419,520	8,721,798	9,314,061
その他未払費用	43,269	42,749	44,532	38,262	39,636	42,325
(C) 純資産総額(A-B)	9,353,141,546	9,425,534,980	8,895,035,115	8,596,456,312	8,806,340,889	8,660,242,051
元 本	13,219,990,558	13,139,722,363	13,061,542,002	12,980,454,613	12,928,808,700	12,850,977,480
次期繰越損益金	△3,866,849,012	△3,714,187,383	△4,166,506,887	△4,383,998,301	△4,122,467,811	△4,190,735,429
(D) 受益権総口数	13,219,990,558口	13,139,722,363口	13,061,542,002口	12,980,454,613口	12,928,808,700口	12,850,977,480口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,075円	7,173円	6,810円	6,623円	6,811円	6,739円

## ■損益の状況

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	自 2024年5月18日 至 2024年6月17日	自 2024年6月18日 至 2024年7月17日	自 2024年7月18日 至 2024年8月19日	自 2024年8月20日 至 2024年9月17日	自 2024年 9月18日 至 2024年10月17日	自 2024年10月18日 至 2024年11月18日
(A) 配当等収益	536円	477円	1,370円	1,383円	1,428円	1,615円
受取利息	536	477	1,370	1,383	1,428	1,615
(B) 有価証券売買損益	179,792,233	151,718,802	△451,614,930	△222,025,499	265,742,429	△70,976,076
売 買 益	180,151,880	152,531,104	2,556,986	806,780	266,435,734	206,687
売 買 損	△359,647	△812,302	△454,171,916	△222,832,279	△693,305	△71,182,763
(C) 信託報酬等	△9,564,630	△9,449,898	△9,843,894	△8,457,782	△8,761,434	△9,356,386
(D) 当期損益金(A+B+C)	170,228,139	142,269,381	△461,457,454	△230,481,898	256,982,423	△80,330,847
(E) 前期繰越損益金	△2,553,265,455	△2,381,186,579	△2,238,122,341	△2,695,147,171	△2,926,281,070	△2,665,456,864
(F) 追加信託差損益金	△1,470,591,706	△1,462,130,463	△1,453,865,550	△1,445,388,778	△1,440,240,356	△1,432,096,741
(配当等相当額)	(197,527,807)	(196,351,140)	(195,206,110)	(194,019,453)	(193,272,448)	(192,134,407)
(売買損益相当額)	(△1,668,119,513)	(△1,658,481,603)	(△1,649,071,660)	(△1,639,408,231)	(△1,633,512,804)	(△1,624,231,148)
(G) 計 (D+E+F)	△3,853,629,022	△3,701,047,661	△4,153,445,345	△4,371,017,847	△4,109,539,003	△4,177,884,452
(H) 収益分配金	△13,219,990	△13,139,722	△13,061,542	△12,980,454	△12,928,808	△12,850,977
次期繰越損益金(G+H)	△3,866,849,012	△3,714,187,383	△4,166,506,887	△4,383,998,301	△4,122,467,811	△4,190,735,429
追加信託差損益金	△1,470,591,706	△1,462,130,463	△1,453,865,550	△1,445,388,778	△1,440,240,356	△1,432,096,741
(配当等相当額)	(197,529,960)	(196,352,761)	(195,208,102)	(194,021,032)	(193,274,270)	(192,136,469)
(売買損益相当額)	(△1,668,121,666)	(△1,658,483,224)	(△1,649,073,652)	(△1,639,409,810)	(△1,633,514,626)	(△1,624,233,210)
分配準備積立金	104,692,059	113,533,430	115,063,198	113,687,843	120,569,876	121,678,634
繰越損益金	△2,500,949,365	△2,365,590,350	△2,827,704,535	△3,052,297,366	△2,802,797,331	△2,880,317,322

(注1) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### <注記事項>

※当ファンドの第234期首元本額は13,304,368,317円、第234～239期中追加設定元本額は15,754,469円、第234～239期中一部解約元本額は469,145,306円です。

※分配金の計算過程

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	22,940,997円	22,585,354円	15,182,242円	12,236,173円	20,254,592円	14,611,649円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(C) 収益調整金額	197,529,960円	196,352,761円	195,208,102円	194,021,032円	193,274,270円	192,136,469円
(D) 分配準備積立金額	94,971,052円	104,087,798円	112,942,498円	114,432,124円	113,244,092円	119,917,962円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	315,442,009円	323,025,913円	323,332,842円	320,689,329円	326,772,954円	326,666,080円
(F) 期末残存口数	13,219,990,558口	13,139,722,363口	13,061,542,002口	12,980,454,613口	12,928,808,700口	12,850,977,480口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	238円	245円	247円	247円	252円	254円
(H) 分配金額(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円
(I) 収益分配金額(F×H/10,000)	13,219,990円	13,139,722円	13,061,542円	12,980,454円	12,928,808円	12,850,977円

## 分配金のお知らせ

	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

(注)分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### 【分配金の課税上の取扱いについて】

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、

- A. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合又は当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、
- B. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

- ・課税上の詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。
- ・税法が改正された場合などは、上記の内容が変更になる場合があります。

## お知らせ

該当事項はありません。

# 高金利外債マザーファンド

## 運用報告書

第20期（決算日 2024年11月18日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2004年12月3日から無期限です。
運用方針	中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債を転換したものおよび新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りません。)を行使したものに限ることとし、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	円	% 騰落率		% 騰落率			
第16期(2020年11月17日)	17,623	4.5	491.244	5.2	96.4	—	百万円 19,293
第17期(2021年11月17日)	18,825	6.8	516.294	5.1	96.8	—	18,433
第18期(2022年11月17日)	19,327	2.7	519.130	0.5	97.7	—	16,956
第19期(2023年11月17日)	20,338	5.2	565.529	8.9	98.0	—	16,232
第20期(2024年11月18日)	21,599	6.2	607.137	7.4	97.7	—	15,556

(注)債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

## 当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入率 比	債券先物率 比
	円	% 騰落率		% 騰落率		
(当期首) 2023年11月17日	20,338	—	565.529	—	98.0	—
11月末	20,378	0.2	563.373	△0.4	97.2	—
12月末	20,749	2.0	559.659	△1.0	98.2	—
2024年1月末	20,830	2.4	573.726	1.4	97.7	—
2月末	20,963	3.1	580.855	2.7	97.6	—
3月末	21,344	4.9	587.851	3.9	97.2	—
4月末	21,554	6.0	597.531	5.7	96.4	—
5月末	21,869	7.5	601.573	6.4	97.4	—
6月末	22,712	11.7	621.561	9.9	93.0	—
7月末	21,668	6.5	608.326	7.6	96.1	—
8月末	21,479	5.6	586.818	3.8	97.0	—
9月末	21,458	5.5	586.361	3.7	97.1	—
10月末	21,876	7.6	608.878	7.7	97.4	—
(当期末) 2024年11月18日	21,599	6.2	607.137	7.4	97.7	—

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)債券先物比率は「買建比率－売建比率」です。

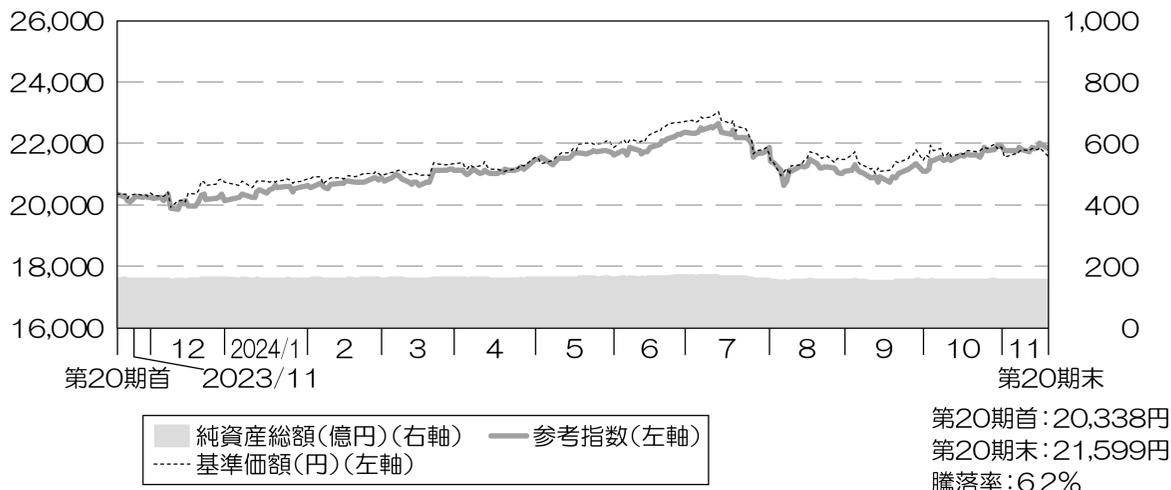
参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。

【FTSE世界国債インデックス】は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

## 基準価額等の推移

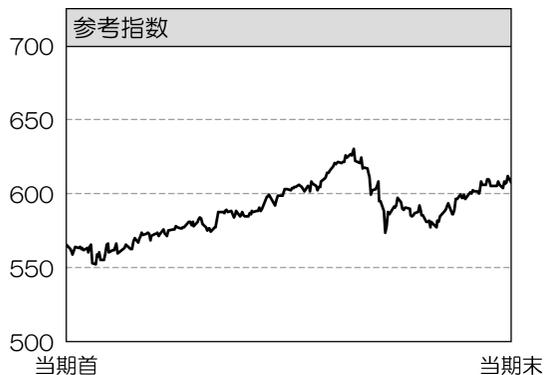


(注)参考指数は、2023年11月17日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。当期初から2023年末にかけては、欧米中央銀行が今後の利下げを示唆したことが相対的な円高圧力となり、投資国通貨が対円で下落したことから、基準価額は一時下落しました。しかし、年明けから2024年7月上旬にかけては、米国を中心に景気が堅調でインフレが根強いことが意識され、各国中央銀行による先行きの利下げ観測が後退したことが相対的な円安圧力となり、投資国通貨が対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。その後7月中旬になると、日本当局による円買い介入観測などから、投資国通貨は対円で下落し、基準価額は下落しました。8月上旬には、米国の雇用統計が市場予想を下回り、同国の景気後退観測が高まったことが相対的な円高圧力となり、投資国通貨が対円で下落したことを受け基準価額は一段と下落しました。9月から当期末にかけては、日本の総選挙で連立与党の過半数割れ観測が高まり、国内政局の先行き不透明感などが円売り材料となったことや、中国当局の財政政策による同国の景気回復期待を背景に市場のリスク心理が改善したことから、投資国通貨は対円で上昇し、基準価額は期を通じてみると上昇しました。

## 投資環境



為替市場では、2024年1月から7月上旬にかけては、米国を中心にインフレの根強さが意識され、各国中央銀行による利下げ観測の後退が相対的な円安圧力となり、投資国通貨は対円で上昇しました。その後7月中旬から8月上旬にかけては、日本当局による円買い介入観測や、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことが相対的な円高圧力となり、投資国通貨は対円で一時下落しました。9月から当期末にかけては、日本の総選挙で連立与党の過半数割れ観測が高まり、国内政局の先行き不透明感などが円売り材料となったことなどから、投資国通貨は対円で上昇しました。

債券市場では、当期初から2023年末にかけては、欧米中央銀行が今後の利下げを示唆したことを受け、投資国の金利は低下（債券価格は上昇）しました。年明けから2024年4月にかけては、米国を中心にインフレの根強さが意識され、各国中央銀行による利下げ観測が後退し、投資国の金利は上昇（債券価格は下落）しました。その後、5月から9月中旬にかけては、米国における労働市場の悪化や、各国中央銀行による利下げ開始を受け、投資国の金利は低下しました。ただし、9月下旬から当期末にかけては、中国当局による財政政策から同国の景気回復期待が高まりリスク心理が改善したことや、米大統領選挙において財政拡張的な政策を掲げるトランプ候補優勢との見方が強まると、先行きのインフレ再燃や財政悪化が警戒され、投資国の金利も上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

通貨配分につきましては、期初から2023年12月にかけては、豪ドルと英ポンドの組入比率を高めに運用し、年明けから2024年9月にかけては、豪ドルと米ドルの組入比率を高めに運用しました。そして10月以降は、豪ドルと英ポンドの組入比率を高めに運用しました。また、期を通じてカナダ・ドルやノルウェー・クローネへの投資を継続しました。

## 当ファンドの組入資産の内容

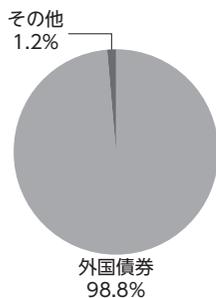
## ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	BRCOL 2.25% 06/02/26	カナダ	15.7%
2	UKT 3.25% 01/31/33	イギリス	11.3%
3	BRCOL 5.7% 06/18/29	カナダ	7.9%
4	NGB 2.125% 05/18/32	ノルウェー	6.0%
5	NGB 1.75% 02/17/27	ノルウェー	5.3%
6	EIB 4.5% 06/07/29	国際機関	5.1%

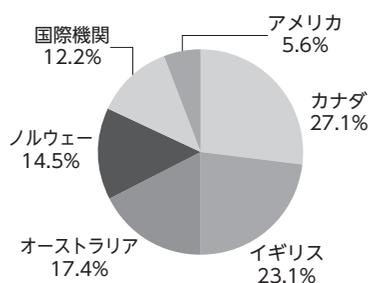
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	EIB 3.1% 08/17/26	国際機関	5.1%
8	ACGB 1.75% 11/21/32	オーストラリア	4.9%
9	ACGB 1% 12/21/30	オーストラリア	4.3%
10	UKT 4.25% 06/07/32	イギリス	4.3%
組入銘柄数			28

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

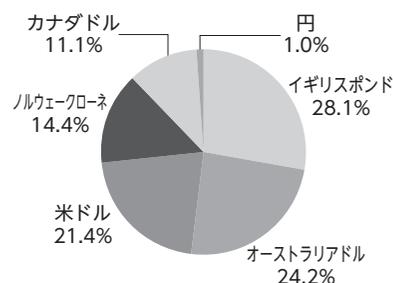
## ○資産別配分



## ○国別配分



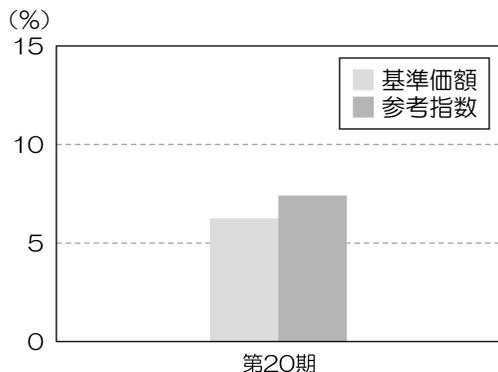
## ○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 今後の運用方針

FTSE世界国債インデックス(除く日本)に採用されている国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などのうち、国際的な格付機関である米国S&P社または同Moody's社から、原則としてA格相当以上が付与された債券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を目指します。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年11月18日～2024年11月18日)		
	金額	比率	
<b>(a) 売買委託手数料</b>	<b>－円</b>	<b>－%</b>	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[\text{期中の売買委託手数料}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(商品) (先物・オプション)	(－)	(－)	
<b>(b) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[\text{期中の有価証券取引税}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(公社債) (投資信託証券)	(－)	(－)	
<b>(c) その他費用</b>	<b>3</b>	<b>0.016</b>	(c) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(3)	(0.016)	
(監査費用)	(－)	(－)	
(その他)	(0)	(0.000)	
<b>合計</b>	<b>3</b>	<b>0.016</b>	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(21,406円)で除して100を乗じたものです。

## 売買および取引の状況

### 〈公社債〉

			当 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	国債証券	千米ドル 17,809	千米ドル 16,933
		地方債証券	—	1,220
	カ ナ ダ	国債証券	千カナダドル 1,864	千カナダドル 746
		地方債証券	—	754
	イ ギ リ ス	国債証券	千イギリスポンド 9,634	千イギリスポンド 13,106
	ノ ル ウ ェ ー	国債証券	千ノルウェークローネ 74,281	千ノルウェークローネ —
		特殊債証券	—	89,835
	オ ー ス ト ラ リ ア	国債証券	千オーストラリアドル 14,520	千オーストラリアドル 17,190
		地方債証券	—	1,033

(注)金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

## 利害関係人\*との取引状況等

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 4,904	百万円 4,904	100.0	百万円 6,596	百万円 6,596	100.0
金銭信託	1	1	100.0	1	1	100.0
コール・ローン	59,171	9,314	15.7	59,143	9,285	15.7

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

\* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

## &lt;外国(外貨建)公社債&gt;

## (A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 23,400	千米ドル 21,264	千円 3,282,212	% 21.1	% —	% 5.5	% —	% 15.6
カ ナ ダ	千カナダドル 14,500	千カナダドル 15,399	1,688,527	10.9	—	3.1	7.8	—
イ ギ リ ス	千イギリスポンド 26,900	千イギリスポンド 22,063	4,302,855	27.7	—	22.3	5.4	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークロネ 171,000	千ノルウェークロネ 158,070	2,205,087	14.2	—	8.8	5.4	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 44,300	千オーストラリアドル 37,183	3,716,847	23.9	—	16.4	2.4	5.0
合 計	—	—	15,195,530	97.7	—	56.2	20.9	20.6

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 個別銘柄開示

銘 柄	利 率	当 期 末			
		額面金額	評 価 額		償還年月日
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ) 国債証券	%	千米ドル	千米ドル	千円	
T 2.875% 05/15/52	2.875	2,500	1,798	277,618	2052/5/15
T 3% 08/15/52	3.0	2,700	1,994	307,886	2052/8/15
T 4% 11/15/52	4.0	2,000	1,793	276,786	2052/11/15
地方債証券					
BRCOL 2.25% 06/02/26	2.25	16,200	15,678	2,419,920	2026/6/2
小 計				3,282,212	
(カナダ) 国債証券		千カナダドル	千カナダドル		
CAN 2% 12/01/51	2.0	1,500	1,149	126,054	2051/12/1
地方債証券					
BRCOL 4.95% 06/18/40	4.95	3,000	3,252	356,641	2040/6/18
BRCOL 5.7% 06/18/29	5.7	10,000	10,997	1,205,832	2029/6/18
小 計				1,688,527	
(イギリス) 国債証券		千イギリスポンド	千イギリスポンド		
UKT 1.25% 07/22/27	1.25	300	277	54,197	2027/7/22
UKT 1.25% 07/31/51	1.25	6,500	3,004	586,025	2051/7/31
UKT 3.25% 01/31/33	3.25	9,700	8,928	1,741,278	2033/1/31
UKT 3.75% 10/22/53	3.75	3,000	2,459	479,607	2053/10/22
UKT 4.25% 06/07/32	4.25	3,400	3,382	659,751	2032/6/7
特殊債券(除く金融債)					
EIB 4.5% 06/07/29	4.5	4,000	4,009	781,995	2029/6/7
小 計				4,302,855	
(ノルウェー) 国債証券		千ノルウェークロネ	千ノルウェークロネ		
NGB 1.375% 08/19/30	1.375	18,000	15,865	221,319	2030/8/19

銘 柄	利 率	当 期 末			
		額面金額	評 価 額		償還年月日
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		千ノルウェークロネ	千ノルウェークロネ	千円	
NGB 1.75% 02/17/27	1.75	61,000	58,333	813,750	2027/2/17
NGB 1.75% 09/06/29	1.75	2,000	1,830	25,541	2029/9/6
NGB 2.125% 05/18/32	2.125	74,000	66,429	926,695	2032/5/18
NGB 3.5% 10/06/42	3.5	16,000	15,611	217,779	2042/10/6
小 計				2,205,087	
(オーストラリア) 国債証券		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
ACGB 1% 12/21/30	1.0	8,200	6,735	673,270	2030/12/21
ACGB 1.75% 06/21/51	1.75	4,900	2,553	255,241	2051/6/21
ACGB 1.75% 11/21/32	1.75	9,300	7,570	756,726	2032/11/21
ACGB 3.75% 04/21/37	3.75	900	818	81,787	2037/4/21
地方債証券					
NSWTC 2% 03/20/31	2.0	2,000	1,693	169,296	2031/3/20
TCV 2.25% 11/20/34	2.25	2,000	1,513	151,257	2034/11/20
TCV 3% 10/20/28	3.0	1,000	946	94,590	2028/10/20
TCV 4.25% 12/20/32	4.25	5,000	4,707	470,601	2032/12/20
特殊債券(除く金融債)					
EIB 3.1% 08/17/26	3.1	8,000	7,825	782,206	2026/8/17
IFC 3.15% 06/26/29	3.15	3,000	2,819	281,869	2029/6/26
小 計				3,716,847	
合 計				15,195,530	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 15,195,530	97.6%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	374,132	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	15,569,662	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(15,408,517千円)の投資信託財産総額(15,569,662千円)に対する比率は99.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=154.35円

1カナダドル=109.65円

1イギリスポンド=195.02円

1ノルウェークローネ=13.95円

1オーストラリアドル=99.96円

## 資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2024年11月18日現在
(A) 資 産	15,569,662,100円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	195,219,354
公 社 債(評価額)	15,195,530,563
未 収 利 息	166,276,541
前 払 費 用	12,635,642
(B) 負 債	13,142,413
未 払 解 約 金	13,142,413
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,556,519,687
元 本	7,202,534,118
次 期 繰 越 損 益 金	8,353,985,569
(D) 受 益 権 総 口 数	7,202,534,118口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,599円

## ■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年11月18日 至 2024年11月18日
(A) 配 当 等 収 益	490,398,403円
受 取 利 息	490,392,474
そ の 他 収 益 金	14,679
支 払 利 息	△8,750
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	491,870,573
売 買 益	825,694,331
売 買 損	△333,823,758
(C) そ の 他 費 用	△2,637,141
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	979,631,835
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,250,850,475
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	106,662,269
(G) 解 約 差 損 益 金	△983,159,010
(H) 計 (D+E+F+G)	8,353,985,569
次 期 繰 越 損 益 金(H)	8,353,985,569

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

※当ファンドの期首元本額は7,981,240,168円、期中追加設定元本額は94,509,771円、期中一部解約元本額は873,215,821円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

高金利ソブリンオープン	4,008,960,782円
3資産バランスオープン	2,411,114,918円
高金利海外債券ファンド(適格機関投資家専用)	473,444,721円
3資産バランスオープンアルファ	309,013,697円

## お知らせ

---

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日：2023年12月12日)